

## 参考資料



当校の二輪指導員“Mr. SM”がバイク専用の乗車用ヘルメットについて解説します。

### ■バイク専用の乗車用ヘルメットのタイプと特徴

 <b>ジェットタイプ</b> JET TYPE	一番おススメ！当校でもこのタイプを使用 開放感があり比較的視野が広くとれる バイク入門に最適
 <b>システムタイプ</b> SYSTEM TYPE	安全性は比較的高いがサイズが大きくなりがち フルフェイスタイプに比べ装着しやすい フルフェイスタイプに比べ安全性は落ちる
 <b>フルフェイスタイプ</b> FULLFACE	安全性が高く種類も多い 他に比べ重量が重くなりがち 通気性がジェットタイプに比べ悪い
 <b>オフロードタイプ</b> OFF-ROAD TYPE	安全性は高いがシールドができない ゴーグルを着用できるが雨・砂・ほこりが内部に 入りやすい
 <b>ハーフタイプ</b> HALF TYPE	開放感はあるがケガにつながりやすい  <注意>当校の教習では使用不可としております

※全てのタイプにおいて、当校の教習ではシールドおよびゴーグルは使用不可としております。  
当校ではジェットタイプの貸出用ヘルメットも用意しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、シールドは取り外しております。

### ■安全規格のマークがついたバイク専用の乗車用ヘルメットを使うこと

  JISマーク、PSCマークがついているかを必ず確認してください  
工事用の安全帽は乗車用ヘルメットではありません  
頭のサイズに合ったものを選んでください(試着をするように)  
一度でも強い衝撃を受けたものは機能が落ちているので使用しない

~~~~~  
以上、一部個人的な見解も含まれていますが、バイク用ヘルメット選びの参考にしてください。  
実際に購入する時には、試着できるお店で店員のアドバイスを聞いて購入するのが一番です。  
インターネット通販サイトや試着ができないお店での購入はおススメできません。決して安い買  
い物ではありませんが、みなさんの命を守るための大切な用品なので、きちんと選んでみなさん  
の頭に合ったものをご購入しましょう。また、内装のインナー素材が劣化してフィット感がなくなり、  
頭に合わなくなったら買い換えましょう。

(C)CHUSEI Driving School この資料の複写・転用やSNS等への投稿は固くお断りします。